

12月は年間で最も事故が多い季節です。
 師走で忙しいですが、だからこそ余裕のある安全運転を！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



初雪にて、さっそくやらかしました (T D T)



この映像の訴求ポイントは…

- ◎雪道でスピンしたら後は運任せ。スピンしない運転が肝要です。
- ◎急ブレーキ、急ハンドル、急発進…3つの急な運転は厳禁です。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



年末だと言うのに・・・



この映像の訴求ポイントは…

- ◎踏み間違いは誰にでも起こりえます。
- ◎ペダルは「ゆっくり」「ふんわり」踏みましょう (燃費にも良い)



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



横断歩道は歩行者優先です



この映像の訴求ポイントは…

- ◎とにかく横断歩道は歩行者優先です。
- ◎車両の陰で歩行者が見えていない可能性を意識します。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



そんなに急がなくても・・・



この映像の訴求ポイントは…

- ◎待たしている方だって気は急いているのです。
- ◎待つ、譲る、止まる。運転も人生も一寸の心の余裕が肝心。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



飛び出し Kids



この映像の訴求ポイントは…

- ◎子供は飛び出すもの。遊びに夢中で周辺が見えなくなります。
- ◎住宅街はすぐに停まれる速度、具体的には20km/h以下です。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】後席ならシートベルトしなくて大丈夫…そんなことはありません！

クルマに乗ったら全員シートベルト…。毎年、JAFが警察庁と合同で行っている全国調査では、前席のシートベルト装着率は9割に達していますが、後席シートベルトをしている割合は、あまり高くありません。高速道路では減点の対象になることもあり、7割程度と装着率が上がってきていますが、一般道では減点の対象とはなっていないこともあってか、装着率は3割程度と、後席シートベルトをしている人の方が少ないのが実情です。

後席のシートベルトは、「窮屈に感じる」とか「面倒臭い」と感じる人が多いようです。また、後席は前席に比べても安全性が高いと思っている人も少なくないようです。出掛ける先は近場だし、シートベルトしていなくても大丈夫…そんな誤解は、事故時に悲惨な結果をもたらします。

警察の発表データによると、後席シートベルトの着用有無が事故の致死率に与える影響は約3倍といいます。過去にJAFが行った衝突実験では、幹線道路を想定して車速64km/hで衝突したとき、後席のダミー人形は衝撃のはずみで前席を乗り越えて、運転席に座るダミー人形に激突してしまいました。後席でシートベルトをしていないと、衝撃のはずみで飛ばされてしまい、前席に座っている人にとっては、自身が凶器になり得るのです。また、衝突の衝撃で後席に座っていた人がガラスを突き破ったり、開いたドアから車外に放り出され、後続車に轢かれて亡くなる事故も起きています。

事故の多くが自宅から500メートル以内で発生しているというデータもあります。近場だから、高速道路ではないから、といったことは、実際に事故が起きてしまえば理由にならないどころか、本来ならば無傷ですんだ事故を悲惨なものにしてしまう恐れがあるのです。クルマに乗ったら全員が必ずシートベルトを着用することを心がけましょう。



後席シートベルトの衝突テストの様子。シートベルトをしていない後席のダミー人形は、衝撃のはずみで前席を乗り越えて、運転席に座るダミー人形に激突してしまいました。

この衝突テストの様子は、JAF ホームページでご覧いただけます。